

84th

# Business Report

## 第84期 中間株主通信

証券コード：1869

### 株主の皆様へ

株主の皆様には平素より格別のご支援をいただき、厚く御礼申し上げます。

ここに、当社グループの第84期中間連結会計期間（令和6年4月1日から令和6年9月30日まで）の営業の概況につきまして、ご報告させていただきます。

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、経済活動の正常化が進み、雇用・所得環境の改善による景気の緩やかな持ち直しが続いている一方、世界的な原材料価格の高止まりや金融引き締め等による景気後退懸念など、依然として取り巻く環境は厳しく、先行きは不透明な状況が続いております。

建設業界におきましては、堅調な公共投資とともに、民間設備投資にも回復傾向がみられますが、建設コストの高止まりによる影響、担い手の確保や長時間労働の解消などへの対応が急務となっており、企業業績への好材料は限定的と言わざるを得ない状況にあります。

このような情勢下、当社グループは令和6年度から新たに第19次経営計画をスタートさせ、4つの経営目標「信頼」「競争力」「実行力」「挑戦」を掲げ、「安全と技術の名工」「社員が誇れる企業」を目指し課題解決に取り組んでまいりました。

当中間連結会計期間の連結業績は、売上高は40,305百万円（前年同期比276百万円増加）となりました。利益におきましては、営業利益が2,720百万円（前年同期比736百万円増加）、経常利益は3,023百万円（前年同期比770百万円増加）で親会社株主に帰属する中間純利益は2,053百万円（前年同期比498百万円増加）となりました。

株主の皆様におかれましては、引き続き変わらぬご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

令和6年11月



代表取締役社長  
松野 篤二

### 財務ハイライト

#### 受注高



#### 売上高



#### 親会社株主に帰属する中間純利益



## 部門別の概況

### 土木部門

受注高

**21,193**百万円 前年同期比 **9.4%**増 

売上高

**29,087**百万円 前年同期比 **2.5%**増 

#### 当期の主な完成工事



東海道本線桜橋Bo改築工事



東海北陸自動車道 尾西ICオンランプ橋他3橋耐震補強工事

### 建築部門

受注高

**12,049**百万円 前年同期比 **7.9%**減 

売上高

**10,625**百万円 前年同期比 **4.3%**減 

#### 当期の主な完成工事



名古屋市植田寮改築工事



泉大津市立条東小学校校舎棟長寿命化改良工事

### ポイント

受注高

- 土木部門は、官公庁工事・民間工事とも増加し、前年同期比1,828百万円（9.4%）増の21,193百万円となりました。一方で、建築部門は、民間工事が増加しましたが、官公庁工事が減少したため、前年同期比1,036百万円（7.9%）減の12,049百万円となりました。

売上高

- 土木部門は、官公庁工事の完成工事高の増加により、前年同期比702百万円（2.5%）増の29,087百万円、建築部門は、官公庁工事・民間工事ともに減少し、前年同期比474百万円（4.3%）減の10,625百万円となりました。

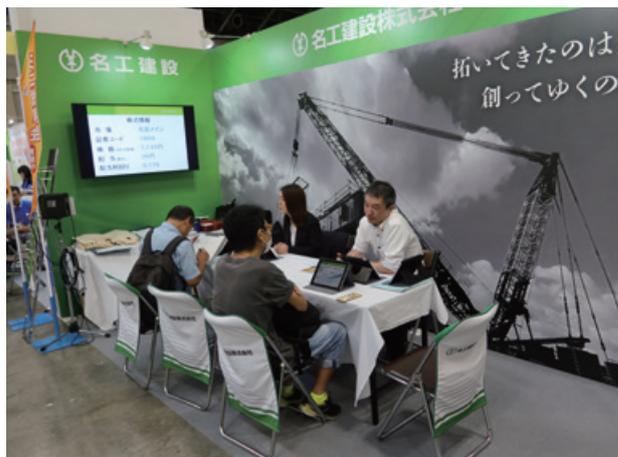
# トピックス

## 名証IRエキスポ2024に出展

令和6年9月6日（金）～7日（土）の2日間にわたり名古屋証券取引所主催で開催された「名証IRエキスポ2024」へ出展しました。

名証IRエキスポは、投資家の方々が上場企業と直接対話ができる日本最大級のイベントであり、多くの来場者で賑わいました。当社ブースでは、対面による個別面談の他、企業説明会を実施し、事業内容や業績、株式情報等に関する説明を行いました。大変多くの方にご訪問いただき、当社に興味を持っていただけた他、貴重なご意見、ご感想を伺うことができました。

今後も、株主の皆様のご期待に沿うべく積極的なIR活動を推進してまいります。



## マクラギ積卸搬送装置の開発について

当社は、線路を構成する重要部材であるPCまくらぎを安全かつ効率的に作業箇所まで運搬する機械『マクラギ積卸搬送装置』を開発いたしました。これにより、従来36本／回搬送していたのが、最大126本／回になった他、安全かつ効率的な作業ができるようになりました。

また、全国から選抜された保線技術に関する研究の発表会である（一社）日本鉄道施設協会主催の第12回鉄道施設技術発表会（保線部門）において、当装置の開発について発表したところ、最優秀賞を受賞するなど高く評価されました。当社が技術開発に重点をおいて取り組みを行っている中で、この研究開発が高く評価されたことは、当社の保線技術力のアピールとなりました。

今後も技術力を高め、鉄道インフラの安全に貢献してまいります。



# 会社情報

## 会社概要

商号	名工建設株式会社
英文商号	MEIKO CONSTRUCTION CO.,LTD.
設立	昭和16年6月28日
資本金	15億9,450万円
従業員数 (連結)	1,279名(令和6年9月30日現在)
本店所在地	名古屋市中村区名駅一丁目1番4号 JRセントラルタワーズ34階
支店	東京支店・静岡支店・甲府支店・名古屋支店・ 大阪支店・北陸支店

## 株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月下旬
基準日	定時株主総会・期末配当 毎年3月31日 中間配当 毎年9月30日
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
同事務取扱場所	〒460-8685 名古屋市中区栄三丁目15番33号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(郵便物送付先) (電話照会先)	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-782-031 (フリーダイヤル) 取次事務は三井住友信託銀行株式会社の本店および全国各支店で行っております。
公告の方法	電子公告の方法により行います。 ただし、事故その他やむを得ない事由により電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。 電子公告掲載URL <a href="https://www.meikokensetsu.co.jp/ir/koukoku">https://www.meikokensetsu.co.jp/ir/koukoku</a>

## お知らせ

- 住所変更、単元未満株式の買取・買増等のお申出先について  
株主様の口座のある証券会社にお申出ください。  
なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。
- 未払配当金の支払について  
株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

## 取締役及び監査役 (令和6年9月30日現在)

代表取締役社長	松野 篤二
取締役	奥村 由政
取締役	落合 弘
取締役	高松 一郎
取締役	出口 彰
取締役	川越 正啓
取締役	村松 浩成
取締役	丹羽 慎治
取締役	前川 宏一
常勤監査役	堀場 太民夫
常勤監査役	松永 靖
監査役	内藤 雄順
監査役	山田 淳

## 株式の状況 (令和6年9月30日現在)

発行済株式の総数	株主総数	
27,060千株	2,060名	
大株主		
株主名	持株数 (単位:千株)	持株比率 (単位:%)
東海旅客鉄道株式会社	2,139	8.47
名工建設社員持株会	1,735	6.87
株式会社三菱UFJ銀行	1,200	4.75
株式会社りそな銀行	948	3.75
株式会社北陸銀行	913	3.61
株式会社みずほ銀行	806	3.19
東鉄工業株式会社	524	2.07
日本生命保険相互会社	511	2.02
興和株式会社	500	1.98
東邦瓦斯株式会社	500	1.98

※自己株式(1,816千株)を除く

## ホームページのご案内

ホームページにて当社の企業情報を随時公開しております。  
施工実績、技術紹介など各種情報のほか、IR情報のページ  
では決算短信などもご覧いただけます。

<https://www.meikokensetsu.co.jp/>

名工建設

検索

